

第1号議案

平成30年度事業報告並びに収支決算の承認について

事業報告総論

1. 総括

平成30年度は、平成30年12月30日より発効されたTPP協定に伴い、肉用牛肥育経営安定特別対策事業（牛マルキン）が廃止され、新たに法制化された肉用牛肥育経営安定交付金制度が開始されることとなった。

また、日・EUのEPA発効や米国との日米物品貿易協定の交渉も開始されることから畜産経営の環境は厳しい状況が続いている。

そのような中、肥育経営では黒毛和種の枝肉販売価格は好調に推移しているものの、牛マルキン事業で肉専用種は平成30年5月から9月まで連続で、交雑種は4月から10月連続、乳用種に至っては毎月補填金交付が発生しており、子牛価格の高騰など生産コスト増が肥育経営の所得減少に繋がっている。

また、酪農では、国の働き方改革の関連事業として労働力負担軽減の為に機械導入事業が実施されているが、県内では離農が続いており、酪農経営は19戸となった。

なお、岐阜県で発生した豚コレラは、愛知県で20例目まで広がり、近県である本県も一層の防疫体制の強化が必要となっている。

こうした畜産を巡る情勢の中、本協会は、畜産関連業界・団体と行政の連携・調整役としての重要な役割を担い、国、県、中央団体の補助事業を補完する団体として経営診断、価格補填、畜産クラスター事業、楽酪事業の窓口団体等、経営技術の効率的、効果的な支援事業により県内生産者の経営改善と基盤強化に取り組んだ。

特に、交雑種・乳用種の品種においては肉用牛肥育経営安定特別対策事業による所得補填により、経営安定に努めたほか、畜産関連の機械導入を行う畜産クラスター事業や楽酪事業の実施により、畜産経営者へのセーフティネット構築や畜産経営者の新たな取り組みへの支援を実施した。

衛生指導事業では、高度化する生産体制の確立と、高品質な畜産物生産を確保するため、牛、豚、鶏に対する自衛防疫事業を強化するとともに、鳥インフルエンザの発生防止やアカバネ病対策にも努めた。

家畜改良事業では、牛群検定、家畜登録および優良精液の利用推進を図り、乳用牛の改良と若狭牛の効率的生産に努めた。

また、福井県では、県営牧場でのふれあい体験学習を展開しており、協会も積極的に事業参加して消費拡大と畜産への理解推進を図った。

2. 総会等の開催状況及び組織

1) 総 会

開催年月日	議案とその議決
平成30年4月 臨時総会 (30.4.20)	第1号議案 役員の補欠選任について
平成30年6月 定時総会 (30.6.25)	第1号議案 平成29年度事業報告並びに収支決算の承認について 第2号議案 役員の辞任に伴う補欠選任について
第65回通常総会 (31.3.25)	第1号議案 平成30年度収支予算の補正について 第2号議案 平成31年度事業計画及び収支予算計画について 第3号議案 賦課金等の金額および賦課方法・徴収時期について 第4号議案 借入金の最高限度額および借入先について

2) 理 事 会

開催年月日	議案とその議決事項
平成30年4月 臨時理事会	1. 臨時理事会の開催について 2. 臨時総会提出議案の審議について (持回り合議)
平成30年6月 理事会	1. 平成30年6月定時総会ならびに総会事前説明会の開催日程等について 2. 平成30年6月定時総会提出議案の審議について 3. 肉用牛肥育経営安定特別対策事業に係る業務方法書の一部改正について 4. 家畜防疫互助基金支援事業に係る業務方法書の一部改正について (平成30年6月4日)
平成30年11月 臨時理事会	1. 肉用牛肥育経営安定交付金制度の「積立金管理者」申請に係る理事会の承認について 2. 積立金管理者による事業実施に係る「業務方法書」の制定について (持回り合議)
平成31年2月 理事会	1. 第65回通常総会ならびに総会事前説明会の開催日程等について 2. 第65回通常総会提出議案の審議について 3. 肉用牛肥育経営安定交付金制度に係る事務手数料の徴収について (平成31年2月19日)

3) 監事会

開催年月日	議案とその議決事項
平成30年5月	1. 平成29年度における事業実施状況・会計決算についての監査 (平成30年5月29日)

4) 組織

(1) 会 員

ア. 正 会 員

	年度始 現在数	本年度 増加数	本年度 減少数	年度末 現在数	備 考
各 J A	12		1	11	JA たんなん、IA 池田合併 (H31.1.1)
J A福井県中央会	1			1	
J A福井県信連	1			1	
J A福井県経済連	1			1	
全共連福井県本部	1			1	
各市町	19			19	
畜産団体	8			8	農業共済組合 県肉用牛協会 県養鶏協会 県獣医師会 県家畜改良協会 県酪農農協連 県養豚協会 県和牛生産振興会
福井県	1			1	
合 計	44	0	1	43	

イ. 準会員

なし

(2) 機 構

ア. 役 員

(31.3.31現在)

役職名	氏 名	所属・役職名
会長理事	田波 俊明	J A福井県中央会・会長
常務理事	吉田 茂昭	
理 事	寺井 敏高 林 信一 宮田 幸一 坂田 和洋 松澤 重治 瓦 惣一	J A福井市・経営管理委員会会長 J Aテラル越前・代表理事組合長 J A若狭・代表理事組合長 福井県農業共済組合・専務理事 福井県獣医師会・会長 福井県和牛生産振興会・会長
代表監事	富田 勇一	花咲ふくい・代表理事組合長
監 事	西尾 宗雄	J A福井市南部・経営管理委員会会長

イ. 職 員

職 名	年度始 人員	本年度中の移動		年度末 人員	備 考	
		任用	解任			
一 般 職 員	事 務 局 長 (総括畜産コンサルタント)	1	0	0	1	
	畜産コンサルタント	3	0	0	3	
計		4	0	0	4	

事業の概要

事業体系図

畜産振興に関する事業	(1) 家畜改良繁殖推進事業 (2) 家畜改良繁殖推進事業 (3) 乳用種雄牛後代検定事業 (4) 乳用牛改良増殖推進事業 (5) 日本家畜人工授精師協会委託事業 (6) 畜産経営技術指導事業 (7) 畜産経営技術高度化支援指導事業 (8) 畜産・酪農収益力強化整備等特別対策事業（機械導入） (9) 酪農経営体生産性向上緊急対策事業 (10) 酪農労働省力化推進施設等緊急整備対策事業 (11) 畜産関係団体調整機能強化事業	福井県補助事業 福井県委託事業 家畜改良事業団委託事業 家畜改良事業団委託事業 日本家畜人工授精師協会委託事業 地方競馬全国協会補助事業 福井県補助事業 中央畜産会委託 中央畜産会委託 中央畜産会委託 中央畜産会委託
価格差補填金の交付に関する事業	(1) 肉用牛肥育経営安定特別対策事業（交付対策） (2) 肉用牛肥育経営安定特別対策事業（肥育経営安定推進） (3) 肉用牛肥育経営安定交付金制度準備業務委託事業 (4) 肉用牛肥育経営安定交付金制度業務委託事業	農畜産業振興機構補助事業 農畜産業振興機構補助事業 農畜産業振興機構委託 農畜産業振興機構委託
家畜の伝染性疾病の予防、生産衛生に関する事業	(1) 家畜生産農場清浄化支援対策事業 (2) 牛疾病検査円滑化推進対策事業 (3) 家畜防疫互助基金支援事業 (4) 衛生体制強化基金事業	国庫補助事業 国庫補助事業 農畜産業振興機構補助事業 中央畜産会助成事業
その他の事業	(1) 精液等取扱事業 (2) 家畜登録事業 (3) 予防接種事業 (4) 予防接種事故対策事業 (5) 家畜衛生業務委託事業 (6) ふれあい畜産体験学習等案内業務委託事業 (7) 放牧管理業務事業 (8) 消費拡大事業	独自事業 独自事業 独自事業 独自事業 福井県業務委託事業 福井県業務委託事業 生産者団体委託事業 独自事業

実施事業

1 畜産振興に関する事業

本事業は、県内畜産農家が、消費者へ継続的かつ安定的に畜産物を供給できるようにするために、畜産農家の生産技術向上及び経営技術習得を指導する事業であり、下記の事業を実施した。

1) 畜産農家の生産技術向上に対する事業で、家畜の改良や改良に必要な情報収集を実施する事業

(1) 家畜改良繁殖推進事業【福井県補助事業:626,000 円】

乳用雌牛群の効率的かつ総合的な能力検定の推進により、優良乳用雌牛群の選抜確保と能力に応じた利用および効率的な飼育管理ならびに検定済種雄牛の計画的増頭を図るため、乳用雌牛の飼育農家を対象に検定雄牛および後代検定材料牛の検定の実施、記録の収集ならびに検定成績による指導を13戸408頭実施した。

(2) 家畜改良繁殖推進事業【福井県委託事業:162,000 円】

乳用牛群検定の普及定着及び後代検定による乳用牛の能力向上を図るため、全国の牛群情報を収集すると共に、データーを集計分析し、農家指導等県段階の事業推進に努めた。

(3) 乳用種雄牛後代検定事業【家畜改良事業団委託事業:36,804 円】

後代検定事業推進のため調整交配の促進、後代検定娘牛保留奨励に努めた。

(4) 乳用牛改良増殖推進事業【家畜改良事業団委託事業:19,200円】

乳用牛の遺伝子情報を用いたゲノミック評価の信頼性を向上させるため、SNP検査に必要な未經産牛のサンプル収集を行い、泌乳持続性の高い乳用牛の改良を進めた。5戸8頭実施。

(5) 日本家畜人工授精師協会委託事業【日本家畜人工授精師協会委託事業:39,415円】

乳用雌牛に対する交配品種ごとの人工授精および受精卵移植の交配実績のデーター収集を四半期毎に実施し、将来動向を事前に的確に把握することにより乳用後継牛確保に努めた。

2) 畜産農家の経営診断および改善指導、消費者に対する畜産物の情報提供により畜産振興を図る事業

(1) 畜産経営技術指導事業【地方競馬全国協会補助事業:4,942,000 円】

地域での畜産振興を推進するため、消費者の畜産に対する理解醸成のための消費拡大イベントや、畜産技術の研修などを支援した。

(2) 畜産経営技術高度化支援指導事業【福井県補助事業:890,000 円】

畜産をめぐる情勢の変化に対応し、経営感覚に優れた生産性の高い畜産経営体を早急に育成

するために、畜産農家同士の切磋琢磨のなかで、自ら経営改善に取り組む意欲・努力を助長するとともに、指導体制および指導手段・内容の充実を図ることにより、畜産農家の経営技術の高度化に対する支援・指導を総合的に実施した。

(1) 畜産農家に対する情経営技術高度化指導(個別指導)

①先進経営育成のための集合研修	5回
②経営計画の作成指導	15回
③経営改善のためのフォローアップ指導	18回
④生産技術の改善指導	21回

(3) 畜産・酪農収益力強化整備等特別対策事業(機械導入)【中央畜産会委託事業:1,405,305円】

地域の畜産関係者が有機的に連携し、地域ぐるみで収益性を向上させる畜産クラスター計画の中心的な経営体に対し、収益力の強化等に必要な機械のリース導入について、事業実施手続き等の効率化および事業実施体制の強化を図った。

・事業参加要望書取りまとめ 1件

・事業参加要望書申請書取りまとめ 1件

(4) 酪農経営体生産性向上緊急対策事業【中央畜産会委託事業:88,761円】

酪農における省力化や労力負担の軽減に資する機械装置の導入を支援し、併せてその導入により生ずるゆとりを活用し乳用後継牛の確保や後継者の確保等に向けた取組を通じた飼養管理技術の高度化を図る取組を支援する事業において、県内での円滑な推進を図った。

・関係機関からの問い合わせ対応 2回

(5) 酪農労働省力化推進施設等緊急整備対策事業【中央畜産会委託事業:92,512円】

酪農家による省力化機械装置の導入と一体的な施設の整備に対する支援や、搾乳作業をまとめて省力的に実施するための集合搾乳施設の整備等を支援する事業において、県内での円滑な推進を図った。

(6) 畜産関係団体調整機能強化事業【中央畜産会委託事業:496,648円】

県内畜産経営者からの経営・技術・制度・資金等各種相談に応じるため、畜産経営相談窓口となり、畜産経営者等への支援を実施した。

2 畜産経営の安定のための価格差補填金の交付に関する事業

本事業は、県内肥育牛生産者が、安定的に経営を継続していけるように販売した肉用牛に対する価格差補てんをする事業であり、下記の事業を実施した。

(1) 肉用牛肥育経営安定特別対策事業(交付対策)【農畜産業振興機構補助:30,411,000 円】

肉用牛肥育経営は、もと牛の導入から肥育牛の出荷まで一定期間を要し、かつ、生産費に占めるもと畜費の割合が大きいことから、もと畜価格と枝肉価格の水準によっては大幅な収益性の悪化が懸念される。

このため、契約生産者からの積立金、独立行政法人農畜産業振興機構からの補助金をもって肉用牛肥育経営安定特別基金(肥育安定基金)を造成し、肥育牛1頭当たりの四半期平均粗収益が四半期平均生産費を下回った場合に、契約肥育牛を当該四半期に販売した者に対し、肥育牛補てん金を交付する事業の円滑な推進を図った。なお、TPPの施行に伴い、平成30年12月29日をもって事業は終了し、平成30年12月30日から肉用牛肥育経営安定交付金制度へ移行した。

(ア)平成30年12月29日現在 契約戸数:31戸

(イ)平成30年2月～平成31年12月基金造成額

(単位:頭、円)

品 種	積立金単価	平成30年 2月～3月	平成30年4月～ 平成30年12月	合 計	肥育安定 基金造成額
肉専用種	6,000	118		118	708,000
	5,000	0	498	498	2,490,000
	小計	118	498	616	3,198,000
交雑種	19,000	82	0	82	1,558,000
	13,000	0	375	375	4,875,000
	小計	82	375	457	6,433,000
乳用種	22,000	8	0	8	176,000
	11,000	0	30	30	330,000
	小計	8	30	38	506,000
合 計		208	903	1,111	10,137,000

(ウ)肥育牛補填金交付実績

(単位：人、頭、円)

区分	品種区分	交付対象		肥育牛補填金	
		人数 (人)	頭数 (頭)	単価 (頭/円)	交付額 (円)
平成30年 1月分	肉専用種	11	43	1,900	81,700
	交雑種	9	41	4,000	164,000
	乳用種	1	2	4,000	8,000
	小計	21	86	—	253,700
平成30年 2月分	肉専用種	0	0	0	0
	交雑種	8	39	72,300	2,819,700
	乳用種	1	2	31,700	63,400
	小計	9	41	—	2,883,100
平成30年 3月分	肉専用種	0	0	0	0
	交雑種	9	52	84,600	4,399,200
	乳用種	3	4	28,500	114,000
	小計	12	56	—	4,513,200
平成30年 4月分	肉専用種	0	0	0	0
	交雑種	9	44	60,800	2,675,200
	乳用種	2	3	38,000	114,000
	小計	11	47	—	2,789,200
平成30年 5月分	肉専用種	9	39	20,500	799,500
	交雑種	10	45	54,300	2,443,500
	乳用種	2	4	23,500	94,000
	小計	21	88	—	3,337,000
平成30年 6月分	肉専用種	10	41	28,300	1,160,300
	交雑種	9	43	75,000	3,225,000
	乳用種	1	2	21,900	43,800
	小計	20	86	—	4,429,100
区分	品種区分	人数 (人)	頭数 (頭)	単価 (頭/円)	交付額 (円)
平成30年 7月分	肉専用種	14	100	6,900	690,000
	交雑種	9	47	71,000	3,337,000
	乳用種	2	6	25,800	154,800
	小計	25	153	—	4,181,800
平成30年 8月分	肉専用種	11	27	39,300	1,061,100
	交雑種	10	53	50,800	2,692,400
	乳用種	1	3	25,400	76,200
	小計	22	83	—	3,829,700
平成30年 9月分	肉専用種	12	55	15,100	830,500
	交雑種	8	43	36,700	1,578,100
	乳用種	2	7	40,200	281,400
	小計	22	105	—	2,690,000
平成30年 10月分	肉専用種	0	0	0	0
	交雑種	9	46	25,200	1,159,200
	乳用種	1	2	33,700	67,400
	小計	10	48	—	1,226,600
平成30年 11月分	肉専用種	0	0	0	0
	交雑種	0	0	0	0
	乳用種	2	11	33,400	367,400
	小計	2	11	—	367,400
平成30年 12月分	肉専用種	0	0	0	0
	交雑種	0	0	0	0
	乳用種	2	3	39,700	119,100
	小計	2	3	—	119,100
合計	肉専用種	67	305	—	4,623,100
	交雑種	90	453	—	24,493,300
	乳用種	20	49	—	1,503,500
	小計	177	807	—	30,619,900

※平成30年1月分は精算払分のみ記載。

※平成26年度より平成26年4月に販売された交付対象牛から、肥育牛補填金の概算払いを実施。

(エ) 事務委託先

福井市南部農業協同組合、花咲ふくい農業協同組合、春江農業協同組合、テラル越前農業協同組合
越前丹生農業協同組合、福井池田町農業協同組合、越前たけふ農業協同組合、敦賀美方農業協同組合、
若狭農業協同組合、福井県配合飼料価格安定基金協会 以上 10事務委託先

(2) 肉用牛肥育経営安定特別対策事業(肥育経営安定推進)【農畜産業振興機構補助:3,784,691円】

上記事業を円滑に実施し、肉用牛肥育経営の安定を図った。

(3) 肉用牛肥育経営安定交付金制度準備業務委託事業【農畜産業振興機構委託:716,802円】

TPPの施行に伴い肉用牛肥育経営安定特別対策事業が肉用牛肥育経営安定交付金制度へと円滑に制度移行できるように、肥育牛生産者への新制度の周知、普及等を行った。

移行生産者 28名

(4) 肉用牛肥育経営安定交付金制度

畜産経営の安定に関する法律に基づき、標準的販売価格が標準的生産費を下回った場合に、その差額の9割を交付金として交付することで、肉用牛肥育経営の安定を図った。なお、交付金のうち4分の1に相当する額は、生産者積立金より支出した。

契約生産者 28名

交付金交付頭数 5頭、交付金額 63,204円

(5) 肉用牛肥育経営安定交付金制度業務委託事業【農畜産業振興機構委託:778,658円】

上記制度交付金の交付業務を円滑に実施した。

3 家畜の伝染性疾病の予防、生産衛生に関する事業

安全安心な畜産物を生産・提供するための家畜疾病予防対策や家畜衛生指導を行った。

(1)家畜生産農場清浄化支援対策事業【国庫補助事業:224,914 円】

生産農場において伝染力、流行性が強い疾病の発生予防のため、ワクチン接種推進会議を開催し、地域一体となった組織的予防接種を推進した。またアカバネ病混合ワクチン接種を実施し、畜産経営の安定と畜産物の安全性の確保に努めた。

(2)牛疾病検査円滑化推進対策事業【国庫補助事業:707,022 円】

死亡牛の円滑かつ適正な処理を推進するとともに、BSE検査を円滑に実施するため、死亡牛の運搬・処理体制の整備を支援し、畜産物の安全性の一層の向上と消費者の信頼確保に努めた。

(3)家畜防疫互助基金支援事業【農畜産業振興機構補助事業:206,378 円】

口蹄疫、豚コレラ等の悪性伝染病が発生した場合に備え、生産者等が損失を互助補償するための仕組みについて、その趣旨、事業の内容等の周知徹底に努め、家畜防疫互助事業への加入を推進した。

(4)衛生体制強化基金事業【中央畜産会助成事業:9,000 円】

指定獣医師及び家畜衛生関係職員を対象に研修会を開催し、自衛防疫思想の普及を図った。

4 その他の事業

1)乳牛及び和牛の改良を推進するために、家畜改良事業団の精液取扱窓口団体として凍結精液の販売を行う事業

県内の乳牛・和牛の種畜改良および生産性の向上を図るために、(一社)家畜改良事業団等の精液取扱窓口団体として、酪農家及び和牛繁殖農家等に牛の凍結精液を販売した。

(1)精液等取扱事業【独自事業:7,748,280 円】

精液配布本数 乳用牛 603 本 和牛 753 本 後代検定 70 本

液体窒素配布 県内5ヶ所おおむね 40 日間隔で年 9 回補給した。

2) 家畜改良の促進を図るために、家畜の登録事業を行う事業

家畜の改良増殖、生産効率向上のため、県内の酪農家で生まれた子牛の遺伝的な情報を登録し、近親交配・遺伝的不良形質をもった牛の生産を回避するための家畜登録を推進した。

(1)家畜登録事業【独自事業:608,255 円】

血統登録 9 頭 自動登録 113 頭

遺伝子型検査 21 頭 牛群奨励審査 1 頭

自動登録を推進し、登録の普及啓蒙を図った。

3)安全・安心な畜産物を生産及び提供するため、家畜の予防接種を行う事業

安全・安心な畜産物の生産および生産性の向上のために予防接種を実施した。

(1)予防接種事業【独自事業:4,067,280 円】

予 防 接 種 名	実施計画頭羽数	実施頭羽数
豚日本脳炎・豚パルボ感染症混合	70	68
鶏ニューカッスル病	30,000	26,000
牛伝染性鼻気管炎および五種・六種混合	520	369
牛異常産三種・四種混合	800	711
キャトルウイン 5HS およびキャトルバクト3	140	151
牛クロストリジウム感染症五種混合	800	876
牛下痢五種混合	120	98

(2)予防接種事故対策事業 【独自事業】

予防接種事業に係る不測の事故は無かった。

4) 県内畜産公共施設での家畜衛生業務や消費者への体験学習業務により、家畜衛生の向上や畜産の普及啓発を図る事業

県内畜産公共施設において、家畜衛生の業務の速やかな実行のための業務員配置、消費者の畜産知識の向上を図るための体験ガイド配置により、家畜衛生および畜産の普及啓発の向上を図った。

(1)家畜衛生業務委託事業【福井県業務委託事業:3,704,400 円】

牛海綿状脳症(BSE)の湿潤状況および防疫対策を検証するため、死亡牛の適正処理とBSE検査を円滑に行えるよう、死亡牛等の解剖補助・処理の業務を行い、良好な家畜衛生業務及び環境維持に努めた。

(2)ふれあい畜産体験学習等案内業務委託事業【福井県業務委託事業:10,973,880円】

畜産試験場等の公営畜産施設において業務員を配置し、ふれあい牧場の施設管理、家畜の管理をするとともに、動物とのふれあいや体験学習の案内及び畜産に対する理解醸成に努めた。

体験学習実施 57 団体 2,188 人 見学者対応 25,124 人

5)放牧等畜産振興に係る技術指導等

生産者で組織する放牧組合が、県内の耕作放棄地を利用して実施する放牧に対して、放牧場の維持管理方法の指導を実施し、畜産の技術向上を図った。

(1)放牧管理業務事業【県内生産者団体委託事業:10,000円】

耕作放棄地での放牧技術の指導・管理を実施し、地域住民と地域畜産の活性化を図った。
また、農林高校の授業の一環として実施している演習場(柿畑)での放牧は、農高生に畜産への理解増進を図るとともに将来の進路決定の参考となり、地域畜産の活性化に寄与することができた。

(2)消費拡大事業【独自事業:107,349円】

養鶏団体主催の自転車ラリーなどの企画への人員の支援や、養豚団体主催の料理講習イベント企画への協力を行い、県内産畜産物のPRを図った。

一般指導および畜産振興にかかる諸事業

関係機関・団体との緊密な連携のもとに、必要に即し畜産経営指導および経営能力向上等の指導に努めるとともに、各畜産共進会等への協力と優秀入賞家畜飼養者に対する褒賞等を行い、畜産農家の生産技術と意欲の高揚促進に努めた。

また、各関係機関・団体等における各畜産振興事業に対し積極的に協力するとともに、本県畜産の安定的発展に努めた。

(各畜産共進会等に対する褒賞状況)

共進会名	開催年月日	褒賞
第37回福井県若狭子牛共進会	平成30年11月14日	
第25回福井県肉牛枝肉共励会	平成30年12月3日	賞状および副賞

貸借対照表

平成31年 3月31日現在

(単位:円)

科 目	当年度	前年度	増 減
I 資産の部			
1. 流動資産			
現 金 預 金	4,538,378	7,110,243	△ 2,571,865
未 収 金	6,344,329	5,940,482	403,847
前 払 費 用	169,074	169,074	0
流動資産合計	11,051,781	13,219,799	△ 2,168,018
2. 固定資産			
(2) 特定資産			
退 職 給 付 引 当 資 産	21,539,800	20,739,800	800,000
家 畜 衛 生 基 金	10,279,000	10,279,000	0
肥 育 安 定 基 金 預 金	152,726,311	139,045,162	13,681,149
特定資産合計	184,545,111	170,063,962	14,481,149
その他固定資産合計	0	0	0
固定資産合計	184,545,111	170,063,962	14,481,149
資産合計	195,596,892	183,283,761	12,313,131
II 負債の部			
1. 流動負債			
未 払 金	4,086,373	3,628,684	457,689
預 り 金	477,177	467,726	9,451
仮 受 金	0	2,442,000	△ 2,442,000
未 払 消 費 税 等	514,009	721,007	△ 206,998
流動負債合計	5,077,559	7,259,417	△ 2,181,858
2. 固定負債			
退 職 給 付 引 当 金	21,539,800	20,739,800	800,000
長 期 預 り 金	10,279,000	10,279,000	0
肥 育 安 定 基 金	152,726,311	139,045,162	13,681,149
固定負債合計	184,545,111	170,063,962	14,481,149
負債合計	189,622,670	177,323,379	12,299,291
III 正味財産の部			
1. 基金			
基金	0	0	0
2. 指定正味財産			
指定正味財産合計	0	0	0
3. 一般正味財産			
(1) 代替基金	0	0	0
(2) その他一般正味財産	5,974,222	5,960,382	13,840
一般正味財産合計	5,974,222	5,960,382	13,840
(うち特定資産への充当額)			
正味財産合計	5,974,222	5,960,382	13,840
負債及び正味財産合計	195,596,892	183,283,761	12,313,131

正味財産増減計算書

平成30年 4月 1日から平成31年 3月31日まで

(単位:円)

科 目	当年度	前年度	増 減
I 一般正味財産増減の部			
1. 経常増減の部			
(1) 経常収益			
賦 課 金	4,626,500	4,640,500	△ 14,000
賦 課 金	4,626,500	4,640,500	△ 14,000
事 業 収 益	12,423,815	14,051,614	△ 1,627,799
家 畜 登 録 事 業 収 益	608,255	702,824	△ 94,569
精 液 取 扱 事 業 収 益	7,748,280	9,198,760	△ 1,450,480
予 防 接 種 事 業 収 益	4,067,280	4,150,030	△ 82,750
受 取 補 助 金 等	30,369,384	29,550,502	818,882
家畜生産農場清浄化対策事業費	224,914	234,199	△ 9,285
牛疾病検査円滑化推進対策事業費	707,022	0	707,022
家畜改良繁殖推進事業(補助金)	626,000	626,000	0
畜産経営技術高度化支援指導事業費	890,000	890,000	0
畜産経営技術指導事業	4,942,000	4,547,000	395,000
肉用牛肥育経営安定特別対策事業費(事務費)	3,784,691	4,245,291	△ 460,600
家畜防疫互助基金支援事業費	206,378	113,510	92,868
家畜改良事業団補助金(奨励金)	269,892	335,718	△ 65,826
日本ホルスタイン登録協会補助金(還元金)	185,102	215,558	△ 30,456
衛生体制強化基金事業費	9,000	9,000	0
家畜衛生業務委託事業費	3,704,400	3,704,400	0
家畜改良繁殖推進事業費(委託)	162,000	162,000	0
ふれあい畜産体験学習等案内業務委託事業費	10,973,880	11,386,764	△ 412,884
肉用牛肥育経営安定交付金制度業務委託事業	778,658	0	778,658
肉用牛肥育経営安定交付金制度準備業務委託	716,802	0	716,802
飼養衛生管理基準等緊急啓発普及促進事業費	0	206,639	△ 206,639
畜産・酪農収益力強化整備等特別対策事業費	1,405,305	1,928,529	△ 523,224
酪農経営体生産性向上緊急対策事業費	88,761	308,652	△ 219,891
酪農労働省力化推進施設等緊急整備対策事業	92,512	0	92,512
畜産関係団体調整機能強化事業費	496,648	0	496,648
自衛防疫体制強化推進事業費	0	438,091	△ 438,091
乳用種雄牛後代検定事業費	36,804	61,188	△ 24,384
乳用牛能力向上事業費	0	38,400	△ 38,400
乳用牛改良増殖推進事業委託事業費	19,200	0	19,200
日本家畜人工授精師協会委託事業費	39,415	39,563	△ 148
放牧管理受託事業費	10,000	60,000	△ 50,000
受 取 負 担 金	1,855,445	1,623,598	231,847
牛 群 検 定 賦 課 金	1,855,445	1,623,598	231,847
受 取 手 数 料	579,500	644,000	△ 64,500
受取協会事務手数料	579,500	644,000	△ 64,500
家畜防疫互助事業預かり金収益	793,068	0	793,068
牛生産者基金預かり金収益	413,675	0	413,675
豚生産者基金預かり金収益	84,900	0	84,900
互助事業返戻金収益	294,493	0	294,493
雑 収 益	523,162	543,894	△ 20,732
受 取 利 息	1,930	2,801	△ 871
雑 収 益	441,232	461,093	△ 19,861
賛 助 会 費	80,000	80,000	0
指定正味財産からの振替額	30,684,399	29,492,031	1,192,368
経常収益計	81,855,273	80,546,139	1,309,134
(2) 経常費用			
事 業 費	74,304,024	74,026,034	277,990
給 料 手 当	17,038,686	17,067,265	△ 28,579

科 目	当年度	前年度	増 減
予 防 接 種 技 術 料	471,700	471,150	550
臨 時 雇 賃 金	1,608,740	1,795,740	△ 187,000
退 職 給 付 費 用	800,000	800,000	0
法 定 福 利 費	2,774,421	2,849,397	△ 74,976
旅 費 交 通 費	1,084,384	855,494	228,890
通 信 運 搬 費	882,339	845,026	37,313
事 務 消 耗 品 費	234,022	413,529	△ 179,507
印 刷 製 本 費	157,835	43,322	114,513
賃 借 料	294,192	300,736	△ 6,544
保 険 料	25,320	21,335	3,985
諸 謝 金	14,000	14,000	0
租 税 公 課	524,009	584,252	△ 60,243
ワ ク チ ン 購 入 費	2,889,021	2,827,990	61,031
支 払 負 担 金	325,481	351,853	△ 26,372
家 畜 登 録 事 業 費	545,615	632,840	△ 87,225
精 液 取 扱 事 業 費	6,525,483	7,716,586	△ 1,191,103
支 払 助 成 金	31,066,554	29,520,300	1,546,254
支 払 市 町 村 交 付 金	23,290	23,248	42
委 託 費	6,609,990	6,626,596	△ 16,606
雑 費	408,942	244,375	164,567
事 業 推 進 協 議 会 費	0	11,000	△ 11,000
補 償 費	0	10,000	△ 10,000
管 理 費	6,735,341	6,484,690	250,651
給 料 手 当	1,566,754	973,585	593,169
臨 時 雇 賃 金	16,500	16,500	0
法 定 福 利 費	228,778	44,471	184,307
会 議 費	364,082	367,053	△ 2,971
旅 費 交 通 費	94,975	70,742	24,233
通 信 運 搬 費	231,720	815,128	△ 583,408
事 務 消 耗 品 費	89,002	84,587	4,415
印 刷 製 本 費	31,348	31,635	△ 287
賃 借 料	144,882	156,600	△ 11,718
事 務 所 費	2,238,766	2,278,388	△ 39,622
慶 弔 費	52,800	30,800	22,000
租 税 公 課	126,193	122,000	4,193
支 払 負 担 金	542,130	546,130	△ 4,000
借 入 金 利 息 費	0	2,815	△ 2,815
雑 費	1,007,411	944,256	63,155
支 払 家 畜 防 疫 互 助 事 業 預 り 金	793,068	0	793,068
牛 生 産 者 基 金 積 立 金	413,675	0	413,675
豚 生 産 者 基 金 積 立 金	84,900	0	84,900
互 助 事 業 返 戻 金	294,493	0	294,493
畜 産 振 興 費	9,000	9,000	0
畜 産 振 興 費	9,000	9,000	0
経常費用計	81,841,433	80,519,724	1,321,709
評価損益等調整前当期経常増減額	13,840	26,415	△ 12,575
評価損益等計	0	0	0
当期経常増減額	13,840	26,415	△ 12,575
2. 経常外増減の部			
(1) 経常外収益			
経常外収益計	0	0	0
(2) 経常外費用			
経常外費用計	0	0	0
当期経常外増減額	0	0	0
当期一般正味財産増減額	13,840	26,415	△ 12,575
一般正味財産期首残高	5,960,382	5,933,967	26,415
一般正味財産期末残高	5,974,222	5,960,382	13,840

科 目	当年度	前年度	増 減
II 指定正味財産増減の部			0
受 取 補 助 金 等	30,411,000	50,790,000	△ 20,379,000
肉用牛肥育経営安定特別対策事業費	30,411,000	50,790,000	△ 20,379,000
受 取 積 立 金	13,952,000	16,930,000	△ 2,978,000
生 産 者 積 立 金	13,952,000	16,930,000	△ 2,978,000
特 定 資 産 運 用 益	2,548	2,747	△ 199
特 定 資 産 受 取 利 息	2,548	2,747	△ 199
基 金 取 崩 額	30,683,104	29,490,300	1,192,804
基 金 繰 入 額	44,364,253	67,721,016	△ 23,356,763
一 般 正 味 財 産 へ の 振 替 額	△ 30,684,399	△ 29,492,031	△ 1,192,368
当期指定正味財産増減額	0	0	0
指定正味財産期首残高	0	0	0
指定正味財産期末残高	0	0	0
III 基金増減の部			
当期基金増減額	0	0	0
基金期首残高	0	0	0
基金期末残高	0	0	0
IV 正味財産期末残高	5,974,222	5,960,382	13,840

財務諸表に対する注記

1 重要な会計方針

(1) 引当金の計上基準

退職給付引当金は、期末退職給与の要支給債務額に相当する金額を計上している。

(2) リース取引の処理方法

リース取引の処理方法は、通常の賃貸借処理取引に係る方法に準じた会計処理による。

(3) 消費税等の会計処理

税込方式で計上している。

2 基本財産及び特定資産の増減額及びその残高

基本財産及び特定資産の増減額及びその残高は、次のとおりである。

(単位：円)

科 目	前期末残高	当期増加額	当期減少額	当期末残高
基本財産				
小 計	0	0	0	0
特定資産				
退 職 給 付 引 当 資 産	20,739,800	800,000	0	21,539,800
家 畜 衛 生 基 金	10,279,000	0	0	10,279,000
肥 育 安 定 基 金 預 金	139,045,162	44,364,253	30,683,104	152,726,311
小 計	170,063,962	45,164,253	30,683,104	184,545,111
合 計	170,063,962	45,164,253	30,683,104	184,545,111

3 基本財産及び特定資産の財源の内訳

基本財産及び特定資産の財源等の内訳は、次のとおりである。

(単位：円)

科 目	当期末残高	(うち基金 からの充当額)	(うち指定正味財 産からの充当額)	(うち一般正味財 産からの充当額)	(うち負債に 対応する額)
基本財産					
小 計	0	0	0	0	0
特定資産					
退職給付引当資産	21,539,800				21,539,800
家畜衛生基金	10,279,000				10,279,000
肥育安定基金預金	152,726,311				152,726,311
小 計	184,545,111	0	0	0	184,545,111
合 計	184,545,111	0	0	0	184,545,111

4 担保にしている資産 なし

5 補助金等の内訳並びに交付者、当期の増減額及び残高

補助金等の内訳並びに交付者、当期の増減額及び残高は、次のとおりである。

(単位：円)

補助金等の名称	交付者	前期末残高	当期増加額	当期減少額	当期末残高	貸借対照表上 の記載区分
家畜生産農場清浄化対策事業	農林水産省	0	224,914	224,914	0	
牛疾病検査円滑化推進対策事業	農林水産省	0	707,022	707,022	0	
家畜改良繁殖推進事業	福井県	0	626,000	626,000	0	
畜産経営技術高度化支援指導事業	福井県	0	890,000	890,000	0	
畜産経営技術指導事業	地方競馬全国協会	0	4,942,000	4,942,000	0	
肉用牛肥育経営安定特別対策事業	農畜産業振興機構	104,280,525	34,195,691	26,749,616	111,726,600	
家畜防疫互助基金支援事業	農畜産業振興機構	0	206,378	206,378	0	
合 計		104,280,525	41,792,005	34,345,930	111,726,600	

6 指定正味財産から一般正味財産への振替額の内訳

指定正味財産から一般正味財産への振替額の内訳は、次のとおりである。

(単位：円)

内 容	金 額
経常収益への振替額	
特定資産運用益振替額	1,295
肥育牛補填金支払に係る振替額	30,683,104
経常外収益への振替額	0
合 計	30,684,399